

決算特別委員会

第1委員会(総務)
第2委員会(産業建設)

一般会計決算

決算特別委員会の小委員会として総務産業建設常任委員により、第1委員会(総務)、第2委員会(産業建設)を担当し、総務部門および産業建設部門の詳細な審議を行った。

問 シルバー人材センターに委託している宿直業務の賃金等の変化はあったか。(辰己 保護議員)

答 (総務課長) 請負契約として行っている業務なので、その中で協議を行っている。

税務課

問 昨年度をもって、前納報奨金制度が廃止となった。今年度に影響はないか。(辰己 保護議員)

答 (税務課長) 前納報奨金は、県下の状況を鑑み廃止をした。それに伴い、全納から期別納付に変更された方もおられるが、詳しい影響は把握できていない。

総務課

問 会計全体の中で不用額を基金積立や、3月補正で調整していないところがある。(辰己 保護議員)

答 (町長) 不用額は、3月補正で調整を行っている。扶助費等は、予算不足が生じてはいけいないので、総計予算主義の原則により当初予算に計上している。

バスの運行を求める。(森 隆一議員)

問 シルバー人材センターに委託している宿直業務の賃金等の変化はあったか。(辰己 保護議員)

答 (総務課長) 請負契約として行っている業務なので、その中で協議を行っている。

その他、管理課・環境対策課・人権政策課・会計室・議会事務局の説明、質疑を行った。

第2委員会(産業建設)

9月12日(火)開催
農林振興課

問 来年度以降の水稻の生産調整の方向性は。(河村 善一議員)

答 (農林振興課係長) 生産調整については、来年度から各自で行っていく方針である。県は今までと同様に調整の数値を示すので、協力をお願いしていきたい。

商工観光課

問 「湖東三山館あいしよこ」での指定管理者と行政の関係性は。(西澤 桂一議員)

答 (商工観光課長) 町としては、「つかず、離れず」の関係性で進み、状況把握に努めたい。

建設・下水道課

問 宇曾川ダム外周の右岸道路の閉鎖が10年と続いている。景観も良いところなので、通行できるように努められたい。(高橋 正夫議員)

答 (建設・下水道課長) ダムとも協議を行い、開通に努めたい。

愛荘町下水道事業特別会計決算認定

平成28年度下水道事業特別会計決算認定は、総務産業建設常任委員会に審査を付託されたことから、9月12日に審

査を行った。

問 愛知川祇園工区の供用開始にむけた取り組みの状況は。(辰己 保護議員)

答 (建設・下水道課長補佐) 平成30年4月以降の供用開始を考えている。一部、奥の敷件については未定な箇所もある。

質疑終了後、討論を経て全員賛成で平成28年度下水道事業特別会計決算は可決された。



決算特別第1・第2委員会

決算特別委員会

第3委員会(民生)
第4委員会(教育)

一般会計決算

決算特別委員会の小委員会として教育民生常任委員により、第3委員会(民生)、第4委員会(教育)を担当し、民生部門及び教育部門の詳細な審議を行った。

と待機してもらっている。

健康推進課

問 がん患者の緩和ケアを拠点病院で行われているが、町としての取り組みは。(伊谷 正昭議員)

答 (健康推進課長) 湖東圏域には、彦根市立病院にがん相談支援センターがある。具体的な取り組みは、今後検討していきたい。

その他、つくし保育園・住民課・地域福祉課・長寿社会課の説明、質疑を行った。

第3委員会(民生)

9月13日開催。主な質疑は、次の通りである。

子ども支援課

問 保育園の待機児童数と保育士の現況は、どうなのか。(徳田 文治議員)

答 (子ども支援課長) 4月時点で12人。年齢別内訳(0歳児3人、1歳児6人、2歳児2人、3歳児1人)。保育士1人当たり子どもの数が決まっており、現存の保育士により入所人数が決まることから、保育士が不足する



決算特別第3・第4委員会

3特別会計決算認定

「平成28年度国民健康保険事業特別会計決算」の認定について。主な質疑は、
・一般会計繰入金判断基準と県統一化に向けた方向性について
・収納対策について

「平成28年度後期高齢者医療事業特別会計決算」の認定について審議した。

「平成28年度介護保険事業特別会計決算」の認定について。主な質疑は、
・保険給付費の不用額につ

第4委員会(教育)

9月14日開催。主な質疑は次の通りである。

教育振興課

問 幼稚園バスの経費や運行内容については。(外川 善正議員)

答 (教育管理部長) 愛知川幼稚園は中型3台、秦荘幼稚園は中型2台、小型1台。運行に係る委託費は、約1,535万円、バスの使用料は、約804万円。

運転手の拘束時間は、午前7時30分から9時30分の2時間、午後13時30分から15時30分の2時間。

問 外国人に日本語を教える教員は県費なのか。(龍 すみ江議員)

給食センター

問 給食費の滞納状況は。(小杉 和子議員)

答 (給食センター所長) 平成28年度は、78万円で215万円。

歴史文化博物館

問 郷土の偉人館の利用者603人の入館者の区分は。(吉岡 暁三子議員)

答 (博物館館長) 町内2校の小学校3年生が社会科学習の授業で利用。西澤真蔵が開削に携わった豊田市から来館されている。

その他、生涯学習課・図書館の説明、質疑を行った。